

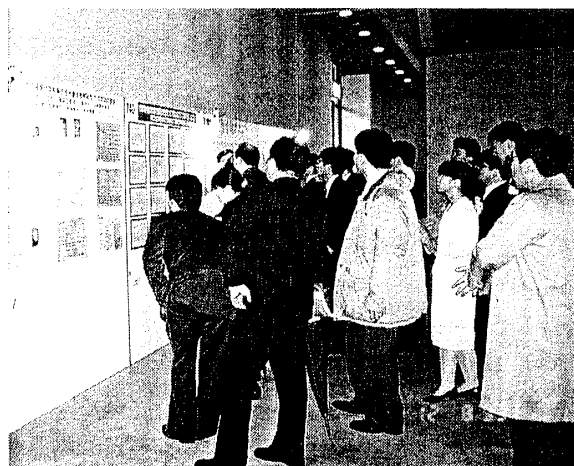
## 平成5年度 日本生物工学会 年次大会 後記

日本生物工学会の平成5年度大会は、筑波大学開学20周年記念として平成5年12月7日(火)より9日(木)まで、筑波大学大会館(つくば市天王台)で開催された。本年度の参加者は、師走の大会にも係らず1400名(事前登録約850名、当日登録約550名)と例年並みで、3日間にわたりシンポジウム19題、一般講演429題(口頭347題、ポスター82題)、受賞講演、パネルディスカッションが7会場に分かれて行われた。また、展示会は27社の協力をえて、会館内の2会場でひらかれた。

初日は、午前中に授賞式を行い、会長挨拶、授賞選考経過報告のあと、生物工学賞(戸田 清氏)、斎藤賞(植田充美氏)、照井賞(上平正道氏)、技術賞(広常正人氏、松浦一雄氏、浜地正昭氏)が授与された。つづいて本年度新設された論文賞(4件)が、福崎英一郎氏ほか、栗山正人氏ほか、森川正章氏ほか、荒森一朗氏ほかにも贈られた。授賞式後、戸田 清氏により、「連続微生物反応プロセスの研究」の演題で生物工学賞受賞講演が行われた。午後は、シンポジウム「生体解析への新規計測法と制御因子の導入」、一般講演(口頭発表)及び今回はじめてポスターによる一般講演が開かれた。また、「工学系生物工学教育への期待:年間卒業生3000人のポテンシャルと現状」と題するパネルディスカッション(世話人 室岡義勝教授)が行われたが、会場は満員の盛況であった。

第2日は「熱と微生物」、「生物工学の新領域—マリノバイオテクノロジー」のシンポジウム、斎藤賞、照井賞、技術賞の各受賞講演のほか、口頭発表が3会場で、ポスター発表が2会場で行われた。最終日は、シンポジウム「自然界からの微生物の分離法—90-95%の未知の微生物を求めて—」と一般講演が行われ、プログラムどおり無事終了した。

第2日の夜には、筑波第一ホテルで懇親会が催された。招待者を含め約320名が出席し、会長の挨拶、南日筑波大学副学長の祝辞につづき、日本酒樽の鏡割り



ポスターセッション会場風景

があり、上田清基先生の音頭で乾杯し、その後約2時間賑やかな懇談が続いた。最後に山田靖甫次期大会実行委員長(大阪大)の挨拶で閉会した。

以上が平成5年度大会の簡単な経過であるが、今大会は、当初、従来と同様のスタイルで11月の学期末休業期間中に開催する予定で準備を進めていた。しかし、大学の都合で教室が使用できなくなり、止むなく大学会館に変更することになった。このことが、師走開催、ポスターセッションの導入、口頭発表時間の短縮という異例づくめの開催になったわけで、始まるまで一抹の不安があった。しかし、けがの功名というか、ふたをあけてみるとむしろ円滑に進行していった。ポスターセッションについては、会場で行ったアンケートの結果(回答数82)では発表者、聴く側双方から高い評価をいただいた。今後の大会運営の一方策として検討に値するようになった。

大会の準備にあたって、学会事務局はじめ過去の大会の準備資料に関連の大学からご提供いただき大変参考になった。足かけ2年にわたり準備と運営に尽力された実行委員、担当地区の諸先生、裏方として頑張ってくれた院生諸君に厚く御礼申し上げる。また飲物をご寄贈下された各社にも御礼申し上げます。

なお、平成6年度大会は、関西支部の世話で神戸国際会議場で開催される予定である。

平成5年度 大会実行委員長 中村 以正

## 囲碁大会（永井会長杯）開催される！

昨年の日本生物工学会（つくば大会）の初日夜（平成5年12月12日）、第1回永井会長杯争奪囲碁大会が、筑波大学職員会館で盛大に開催された。初心者の方の5級から腕に覚えのある五段まで、約20名（永井会長も、？段）参加の下、夕食をはさんで、変則スイス方式で打たれた。持時間が1人25分のため、時計に追われる人、碁よりビールを楽しむ人、アツという間に夜9時、3局打ち終った。

優勝は丸山明彦2段（協和発酵）、準優勝浜地正昭初段（大関）、1位刈田修一2級（三重大学）で、永井学会会長より優勝杯（会長寄贈）準優勝賞など（千代田製作所・サクラ精機寄贈）が贈られ、学会の夜を楽しんだ。

本年（第2回）は、日本生物工学会大会の前日（平成6年11月27日）の日曜午後より、神戸・灘にて行う予定です。腕に覚えのある方、酒を嗜む方、多数の参加をお待ちします（本学会誌に掲載予定）。ここに本大会の準備・運営をしていただいた千代田製作所黒岩巖五段（結局打たずじまい）・サクラ精機㈱の皆様に厚くお礼申し上げます。

（大会委員長：岡崎光雄 信州大・繊維・応生）



碁碁（ビール？）を楽しむ学会員

## 平成5年度 第3回編集委員会議事録

1. 日 時 平成5年12月7日（火） 12時～13時
2. 場 所 筑波大学大学会館 第6会議室
3. 出席者 永井 史郎・今中 宏・小林 猛  
今中 忠行・ト部 格・植田 充美  
加藤 滋雄・北本勝ひこ・木村 光  
\*児玉 徹・塩谷 捨明・清水 昌  
正田 誠・園元 謙二・高木 昌宏

田中 秀夫・\*長沢 透・仁平 卓也  
古川 憲司・室岡 義勝

\*印 委任状

### 4. 議事の経過および結果

今中忠行編集委員長が議事の進行をつとめ、配布資料に基づいて次の通り協議した。

第1号議事 平成5年度上半期編集状況の報告

1) ト部和文誌担当理事は、平成5年度上半期の和文誌の原稿受付状況および投稿数と掲載数について報告した。

2) 今中英文誌担当理事は、平成5年度上半期の英文誌の原稿受付状況および投稿数と掲載数について報告した。また、新たに International Editor を組織したことおよび15名の海外 Editorial Board を委嘱したことを報告した。

第2号議事 編集方針について

今中編集委員長は、技術情報 (Technical note) を設けることを提案した。この提案について協議した結果、「技術情報」の定義を定めた上で、次年度から実施することにした。

第3号議事 トピックス委員の委嘱について

ト部理事は、資料に基づいて平成6年度のトピックス幹事1名および委員10名の委嘱について承認を求めた結果、原案の通り承認された。

## 平成5年度 第3回理事会議事録

1. 日 時 平成5年12月8日（水） 12時～13時
2. 場 所 筑波大学大学会館 第6会議室
3. 出席者 天知 輝夫・今中 忠行・今中 宏  
石崎 文彬・ト部 格・\*岡 徹夫  
木村 光・児玉 徹・小林 猛  
新名 惇彦・正田 誠・鈴木 修  
\*田中 渥夫・田中 秀夫・谷 吉樹  
都河龍一郎・富田 房男・\*土佐 哲也  
永井 史郎・西谷 尚道

監 事 \*菅 健一・布川弥太郎

陪席者 室岡 義勝（西日本支部長）

山田 靖宙（関西支部長）

\*印 委任状

### 4. 議事の経過および結果

新名惇彦庶務担当理事は、理事の出席数（本人出席17名、委任状3名）と定足数を確認して理事会の開催を宣した。続いて永井会長の指名により担当理事は、配布にもとづいて次の通り報告し、承認され

た。

#### 第1号議事 平成5年度上半期事業報告承認の件

- 1) 庶務関係報告（新名惇彦庶務担当理事）  
平成5年度上半期の事業、会議開催状況および会員異動状況について報告した。
- 2) 編集関係報告（今中忠行編集担当理事）  
平成5年度上半期の英文誌および和文誌の原稿受付状況ならびに投稿数と掲載数について報告した。
- 3) 会計関係報告（都河龍一郎会計担当理事）  
平成5年度上半期の経常会計の収支について報告した。
- 4) その他報告

今中編集担当理事は、昨日開催された編集委員会の議決事項について次の通り報告した。

- (1) 平成6年度のトピックス幹事・委員の委嘱
- (2) 英文誌の編集組織に International Editor の新設、外国人15名の Editorial Board の委嘱
- (3) 技術情報 (Technical note) の設置

#### 5) 監査報告（布川弥太郎監事）

平成5年度上半期の事業および会計は、報告の通り順調に推移している。しかし、今後景気の不安定と郵送経費の増大が懸念されるので、執行は慎重かつ大胆に運営して頂きたいと希望を述べた。

#### 第2号議事 支部増設について

永井会長は、活性化の一環として地域活動の強化と拡大の必要性をのべ、九州および中部地区に支部の増設を提案した。提案に基づいて協議した結果、原案の通り増設を決め、明年の総会で正式に承認を得ることにした。

#### 第3号議事 授賞規定の改正案について

新名惇彦庶務担当理事は、資料に基づいて授賞規定の改正案を説明した。この提案に基づいて協議した結果、ほぼ原案の通り承認された。

#### 第4号議事 坂口顧問の顧問辞退について

永井会長は、坂口謹一郎先生が健康の理由により顧問を辞退したいと、人を介して懇請があったことを報告した。報告に基づいて協議した結果、これ以上の留任は失礼にあたるとして、お申し出をお受けすることにした。

#### 第5号議事 その他

以下の事項について協議され承認された。

- (1) 新入会員の承認；（正会員101名、学生会員140名、団体会員3件、賛助会員2社）

- (2) 平成6年度日本生物工学会シンポジウム開催の承認；平成6年7月5日・6日、家の光会館（東京）
- (3) 平成6年度生物工学技術セミナー開催の承認；平成6年7月26日・27日、北海道大学学術交流会館（札幌市）
- (4) 関西支部規約の承認
- (5) 海外会員担当庶務幹事を塩谷捨明教授（阪大・工）に委嘱
- (6) 海外正会員会費を従来の 90US\$ を会費8000円と郵送料2000円合わせて1万円に改正

### 平成5年度 第2回評議員会議事録

1. 日 時 平成5年12月9日（木）  
12時15分～13時

2. 場 所 筑波大学大学会館 第6会議室

3. 出席者 荒井 基夫氏他27名、委任状32名

4. 議事の経過および結果

新名惇彦庶務担当理事は、評議員の出席数（本人出席28名、委任状32名）を確認し、議長を選出について諮ったところ、大嶋泰治氏を全員一致で選出した。続いて議長および会長の挨拶があり議事録署名人に三浦喜温、竹村成三の両氏を指名して議事に入った。

#### 第1号議事 平成5年度上半期事業報告承認の件

- 1) 庶務関係（新名惇彦庶務担当理事）  
平成5年度上半期の事業、会議開催状況および会員異動状況について報告した。
- 2) 編集関係（今中忠行編集担当理事）  
平成5年度上半期の英文誌および和文誌の原稿受付状況ならびに投稿数と掲載数について報告した。
- 3) 会計関係（小林猛副会長）  
平成5年度上半期の経常会計の収支について報告した。
- 4) その他報告（新名庶務理事）  
過日開催された編集委員会および理事会の議決事項について次の通り報告した。
  - (1) 平成6年度トピックス幹事・委員の委嘱
  - (2) 英文誌の編集組織に International Editor の新設、外国人15名の Editorial Board の委嘱
  - (3) 技術情報 (Technical note) の設置
  - (4) 平成6年度の日本生物工学会シンポジウムおよび日本工学技術セミナー開催の決定

- (5) 海外会員会費の改正
- (6) 支部増設の承認
- (7) 授賞規定の改正
- (8) 顧問 坂口謹一郎先生の顧問辞退の承認
- (9) 新入会員の承認

5) 監査報告（布川弥太郎監事）

平成5年度上半期の事業および会計は、報告の通り順調に推移している。しかし、今後景気の不安定と郵送経費の増大が懸念されるので、執行は慎重かつ大胆に運営して頂きたいと希望をのべた。

第2号議事 支部増設について

永井会長は、活性化の一環として地域活動の強化と拡大の必要性をのべ、九州地区および中部地区に支部

の増設を提案した。提案に基づいて協議した結果、原案の通り増設を決め、明年の総会で正式に承認を得ることにした。

第3号議事 授賞規定改正について

新名惇彦庶務担当理事は、資料に基づいて授賞規定の改正案を説明した。この提案に基づいて協議した結果、原案の通り承認された。

第4号議事 坂口顧問の顧問辞退について

永井会長は、坂口謹一郎先生が健康の理由により顧問を辞退したいと、人を介して懇請があったことを報告した。報告に基づいて協議した結果、これ以上の留任は失礼にあたるとして、お申し出をお受けすることにした。